平成 2 5 年度 担い手対応情報 Tとことん、A会って、 Cコミュニケーション!! ii!! TAC。



通信

平成25年 6月10日

JA福井県経済連 担い手対策課 1m0776-91-0187

TAC担当課長会議開催される

「JA-TACと経済連の連携を確認」

5月7日、県農業会館でTAC担当課長会議が開催されました。会議には県内JA担当課長8名をはじめ、全農、中央会、経済連の担い手関連部署の課長等20名が出席し、熱心な審議がなされました。

冒頭、経済連生産資材部 林田部長より「前年度まで担い手対応については指導販売部生産対策課が担っていたが、25年度からは生産資材部に独立した担い手対策課にて対応していくこと、またJAにおけるTAC活動支援・米集荷運動に加え、今まで以上に生産資材部門と連携を図り、JA事業の活性化につながる活動に取り組む」旨あいさつがありました。



また、全農TAC推進課 宮本氏より、全国におけるTAC活動の状況について、担い手対策課 新宮課長から経済連における25年度TAC活動方針が説明されました。意見交換も活発に行われ、25年度のTAC活動について意識統一を図れた有意義な会議となりました。

【コシ 根張りなど順調!】

県と経済連では、5月8日~10日の3日間で32か所の育苗センターを巡回しコシヒカリ苗の生育状況を確認しました。初日となる8日には、福井市の東部農業施設センターで、中村農林水産部長をはじめ堺井経済連参事、JA福井市堀岡常務等が出席され、セレモニーが開催されました。







中村部長のあいさつの後に、農業試験場の倉田主任から換気やかん水のポイントが示されました。「今後気温が上昇すると見込まれており、ハウス内が25℃以上にならないように換気すること。また草丈を12cm程度にすること」について特に気を配るよう説明がありました。

昨年度米の一等比率は91%と全国6位となっていますが、特Aの維持と更なる1等米比率の向上に向けて全力をあげて「福井の稲作」に取り組むという意を強くした一日でした。

第1回 TAC研修会開催!



5月28日(火)経済連総合センターにおいて、25年度第 1回TAC研修会が開催されました。新年度より担い手対策課 が新設され、初めての研修会となりました。県下6JAからT AC24名の参加があり有意義な研修会となりました。

冒頭、経済連生産資材部林田部長より「JA事業における担い手農家へ直接出向くTACの重要性と、経済連としても担い手対策課を作り、今まで以上にJAと一体となった活動に取り組んでいく」旨あいさつがありました。

研修会では、『土づくりの重要性と対策』『土壌診断と結果の 見方』『TACの任務とTACシステムの活用について』の3つ のカリキュラムについて進められました。

土づくりの研修会では、担い手対策課の牧野課長より作物の生育に良い土とはどんな土か、また福井県の水田土壌の状況を地域別・主要項目別(PH・CEC・ケイ酸など)に地図を用いて説明がありました。

特に、ケイ酸質資材を中心とした土づくりにより、イネの受光態勢が良くなり、米粒がデンプンで満たされることにより充実したお米をづくりにつながること、またケイ酸は水稲1作で10aあたり100kg(窒素の10倍)吸われるため、補給(土づくり)することの大切さについて話しがありました。







TACシステムの研修では、講師にJA全農 TAC推進課より宮本氏を迎え、TACシステムの基本的な操作方法・活用方法について説明がありました。また、面談記録については、良い例・悪い例の実例に基づく解説と、今後システムを活用していく上で、意見の集約と情報の共有化に役立つ入力である【キーワード】の統一について提案がありました。

長時間に亘る研修となりましたが、参加されたTACの 方々は熱心に受講され、今後のTAC活動にとって有意義 な研修となりました。

担い手対策課では、今後もTAC活動に役立つ研修会を 開催致しますので積極的な参加をお願いいたします。

ふくい特産市開催!

Ichet 727

福井県内の農林水産品が一堂に集う「ふくい特産市」が5月24日、県農業会館で開催されました。農産品は、コシヒカリとハナエチゼン、あきさかりの量り売りをはじめ、旬の野菜、プリンスメロンや一寸そらまめ、春キャベツ等が並びました。

また、福井県経済連では福井の食材を使った商品の考案・ 開発に取り組んでおり、今回ふくい特産市では【野菜入りシュークリーム(旬クリーム)】・【福井の宝石(越のルビートマトゼリー)】を販売しました。





野菜入りシューケリーム(旬ケリーム)

県下JA管内で生産されている旬な野菜を使用した加工品の開発と女性層に関心の高いスイーツに着眼点を置き、坂井市にある「西坂洋菓子店スリール」の協力を得て野菜入りシュークリーム【旬・クリーム】を販売することになりました。

シュー生地は福井県産米粉を100%使用し、 もっちりとした食感に、クリームには5種類の旬 な野菜を入れ季節を演出しました。野菜が苦手で も、みなさんに楽しんでいただける一品です。

福井の宝石「越のルビートマトゼリー」

福井県産の越のルビーを使用して、越のルビーの 認知度向上と消費の拡大をはかるため「越のルビー トマトゼリー」を販売します。

越のルビーの味と甘みを生かしつつ無着色、無香料でフルーティにしあげています。

福井特産市では6個入りを840円(税込)で消費者に広く販売を実施する予定です。

是非、一度ご賞味ください。

淞回 精產節

6月28日開催



※ 福井県農業会館前にて開催いたします。

アドバンズファーマー研修会開催 JA福井市

5月14日(火) J A福井市六条総合支店 において南部地区のアドバンズファーマー 研修会が行われました。地区の担い手農家 20 名が出席し、総会に引き続き経済連担い 手対策課牧野課長による「土づくりの重要 性と対策」と題した講演がありました。





現在、福井県産米は平成24年度初めてコシヒカリ・ハナエチゼンとも特Aを獲得しましたが、今後これを継続する上でも土づくりが基本となること、過去の土づくり実証圃においても無施用区(土づくりをしていない圃場)と比較し、土づくりをしている圃場は品質・収量・食味等で良い結果が出ていることが紹介されました。

担い手農家に適正施肥を指導 JA若狭

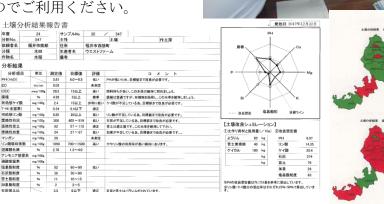


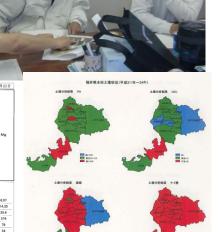
5月29日(月) JA若狭において、TACの泉岡係長、田中主任、岩間主任の3名と経済連担い手対策課とが、管内で38haの水田を耕作している『名田の荘』へ、先ごろ結果の出た水田土壌8点の分析結果と今後の施肥方法について指導するために同行訪問を行いました。

この組織では土づくりに関心が高く、毎年『ようりん』を散布していることから、リン酸の分析値が高いこと、CEC(保肥力)が低い圃場も見受けられ、牛ふん堆肥の施用による保肥力向上について指導を行いました。

今後担い手対策課では、土壌分析結果に基づいた 指導をJAのTAC・営農指導員とともに、担い手 農家へお伺い致しますのでご利用ください。







肥料農薬課

除草剤キャンペーン実施中!



梅雨のシーズンを迎え、ちょっと油断をすると『雑草だらけ』となる季節となりました。この時期に合わせ、今年も『得ボトルキャンペーン』を実施しております。お買い得な価格に加え、購入者の中から抽選で豪華な景品が当たるこの機会に、是非お買い求めください。









上記対象商品で購入で 豪華賞品が当たる!





農業機械課

🛚 イベント情報

7月20日(土)

AM9:00~PM5:00

今回で4回目となる『福井県農業機械化協会』主催による中古農機合同フェアが7月20日に開催予定となっています。北陸最大規模の品揃えでお待ちしていますので、是非この機会をお見逃しなく!







生活店舗課

JAふれあい企画 コンサート



良質な福井県産の大麦をおいしく食べよう!



